

あけましておめでとーございませす!



▲国史跡に指定された「新津油田金津鋳場跡」



トランススイート四季島と
神田新津駅長(右)と子供駅長



生産量日本一のアザレアを手取る花木生産者

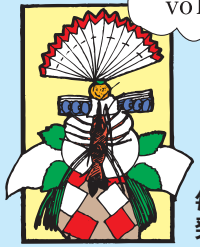


乗客をお見送りする園児たち

にいつホサト ステーション

2019. 1

vol.814



毎月1回
発行

発行所 / 新潟商工会議所
編集発行人 / 田村 一夫

〒956-0864
新潟県新潟市秋葉区新津本町3丁目1番7号
TEL 0250(22)0121 FAX 0250(25)2332
Email: n-cci@fsinet.or.jp
URL http://www.niitsu.or.jp/

今月号の紙面

- ・役員・議員・振興委員
- ・紙上名刺交換
- ・各種団体
- ・新春賀詞交歓会案内



新年のご挨拶

新潟商工会議所会頭

古川 賢一

明けましておめでとーございます。
昨年中は会員ならびに関係各機関・団体、地域の皆様方から、多くのご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年末に当会議所が実施した景況調査では、需要の停滞と競争激化、下請け業者や人員の確保難などが依然として経営上の大きな隘路となつていられるほか、経営者の高齢化と併せて事業承継に関して課題となつていられるという事例が多くみられました。

但し、業種や企業別によつては堅調さをうかがわせる声も、少なからず聞こえてきました。これらの事実を踏まえると、地域の景気は「混とん」とした状況が変わらず続いているというのが当所の認識であります。

こうした中で昨年、県知事選、市長選が行われ、新たなリーダーが県政、市政それぞれで誕生しました。新リーダーには引き続き地方や中小零細企業が経済の回復を真に実感できるような経済の舵取りを強く願うところであります。

一方で、他を待たずただでなく各企業におかれては、言わば自らが必要な掘り起こしや新しい市場の開拓など自助の努力をお願い申し上げる次第です。「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き残るのでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である」これは、十九世紀の時代に生きた科学者C・ダーウインが「種の起源」に取り入れた「適者生存」の概念です。社会や環境が目まぐるしく変化する中で生き残りを図つていかなければならない今日の事業活動に照らせば、今に新しい箴言ともいえます。

少し意識すれば企業としては「これまでの生き方」が通用しなくなった時に、最低限度残すものは残しながら、大胆に捨てるものは捨て、「新たな生き方」を模索しなければならぬということになります。新たな価値を創り出していくことの重要性。このことは又、企業にとどまらず地域経営にも当てはまる普遍の真理です。

「新しい価値の創出」、「適者生存」とは刻々変化する世の中のニーズに応じてどう適確な答えを出していくかということにほかなりません。今、世の中はどのように動いているのか、何を求めているのか、そのためにやるべきことは何か、地域や地域の企業と同じように当会議所に課せられた使命にもまた重いものがあります。

今年も会議所では、「会員企業の発展」と「地域の活性化」の二つを最重要の柱に据え、経営指導員

を中心に会員各企業それぞれのニーズに叶った伴走型の支援を徹底する中、各種相談事業等の推進に一層の力を注ぐなど、会員の満足度向上に貢献するよう役職員一同全力を挙げてまいります。

また、地域経済全体の底上げを図るための「地域の活性化」の観点からは、より一層会員、地域の声を傾けていきます。会議所が「地域の活性化」にこだわりを持つのは「地元企業の利益になること」によつて地域が豊かになることを究極の目標とするからです。様々なイベントに関わつて賑わいを創出しようとするのもこの目標に少しも近づいたための早道だからです。

このほか今年には会議所の重要な活動である政策提言に従来にも増して力を入れてまいります。昨年末には、新潟市長に対して、中心市街地の活性化の推進策として行政機能のまちなかへの回帰やJR新津駅前地区開発におけるハード・ソフト両面からの支援などの要望を行いました。今年には可能な限り具体的なシナリオをもつて各方面に要望・提言を行つてまいります。

さらに、経営面を中心とした積極的な情報提供を行つてまいります。本年10月には消費税率の引き上げ、軽減税率の導入が予定されています。また、事業の承継問題なども今後大きな課題となつてきます。こうしたテーマに対して各種セミナーや勉強会などの開催により情報提供の充実を図つてまいります。

なお、情報に関連すれば会議所には、日々様々な情報が寄せられるほか、職員が足で稼いだ情報が集積しています。これらを精査しながら、正確な情報発信にも意を用いてまいります。

当会議所は、これからも地域や企業から信頼され期待される存在となるべく、新しい年も地道に事業活動を進めてまいります。一方で新たな取り組みにも知恵を絞つてまいります。このほか、当会議所自体としては、財政基盤の確立に向けて稼働力をつけること、会員数の増加を図ること、さらに職員個人と全体のレベル向上などに努めてまいります。

一年の世相を漢字一字で表す「今年の漢字」、昨年は「災」でした。決して明るいイメージとはいえないこの漢字は過去にも一度選ばれましたが、その翌年の漢字は一転して「愛」。今年はぜひ「災」いから転じて「福」となりますよう皆様方のお力をお借りしながら多くの事業に前向きに取り組んでまいり所存です。

会員の皆様方、地域の皆様方のご隆盛とご多幸をお祈りいたしまして新年のご挨拶と致します。